

31 小規模校の特性を生かした 読書活動活性化の取り組み～探究型読書を求めて～

大分県 由布市立石城小学校

基本データ

所在地	由布市挾間町来鉢 31番地1
児童生徒数	58人
教職員数	12人
蔵書数	6,237冊
年間貸出冊数	8,529冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 「図書館司書の活用」「図書委員会の充実」「各教科等と関連付けた読書活動」「PTAによる読み聞かせ」など様々な活動に取り組むことで、子どもたちの読書意欲の向上や探究する力の育成を目指す。

取組・活動の概要

- 石城小学校では、小規模校の特性を生かし、全校総がかりの様々な取り組みを行っている。

(1) 探究型読書の推進

- 施設面では、本校は図書館とコンピュータ教室が併設であることを活用し、朝日小学生新聞で気になった記事について、コンピュータで調べ、自分新聞を書くという探究型読書に取り組ませている。
- はじめは、興味をもった児童にだけ取り組ませていたが、図書委員会の活発な活動により児童の読書意欲の喚起や読書活動の充実につながっている。



「平成31年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰」受賞

(2) たくさんの企画で楽しい図書館を演出

- ① 図書館祭り（6月）「ビブリオバトル」
 - 4年生から4名の挑戦者がそれぞれ持ち寄った本を紹介した。
 - ビブリオバトルとして、児童が自分の本に対す

る熱い思いを友だちに伝えることで、読書活動へのさらなる意欲付けを図っている。



図書館祭り



図書館祭り（6月）「ビブリオバトル」の様子

② 「図書館クイズ」（2学期）

③ 年間多読賞の表彰

- 図書館の利用状況をお知らせするとともに、多読賞の表彰をすることで読書意欲の喚起につなげている。

(3) 教科での取り組み

- 各学年「読書の時間」を日課表へ位置付け、各教科と関連付けながら読書活動の推進を図っている。

(4) その他

- 定期的な取組として、毎週水曜日に「読書タイム」を設けているほか、隔週で読み聞かせグループ「そらいろのたね」による読み聞かせ（15分）を実施している。
- クリスマス会では、ハンドベルの演奏と読み聞かせを実施した。



クリスマス会

読書に移行しつつあるなど、子どもたちの読書の幅がさらに広がったようである。

- ビブリオバトル終了後のアンケートに記載された内容や、図書館に来た子どもたちが「楽しかった」「またやってみたい」と言っていたことから反応の良さがうかがえた。
- 今後はさらに「図書館祭り」だけではなく各学年の授業でも、ビブリオバトルに取り組めれば良いと思っている。

取組・活動の工夫や特徴

- 上記の取組が、委員会や PTA「そらいろのたね」の活動、読書活動の充実につながっている。
- 特にビブリオバトルについては、委員会活動の中で取り組み方を紹介したり、図書委員会が当日の運営を担ったりしたことで、子どもたちの手作りのビブリオバトルとすることができた。
- 日常的な子どもたちとの会話から「どんな本を読みたいか」をつかみ、蔵書管理に生かしている。
- また公立図書館とのネットワークを通し、市立図書館や県立図書館から本を借り受け、子どもたちのリクエストに応えられるようにしている。
- その上で、ビブリオバトルなどを取り入れることによって読書活動の楽しさを伝えることができるよう工夫している。

取組・活動の成果や今後の展望

- 本校はもともと本好きな児童が多いが、これらの取り組みを通して、昨年までは絵本などの多読をしていた児童が、より質の高い内容の濃い